

# いしかわ型復興住宅 単身・夫婦向けプラン (チドリスタジオ+新協+岸田木材+中野)

## 能登杉トラスの住宅(コンパクトタイプ)

### ～モデルプランの特徴とメッセージ～

土間リビングに馴染みのある若年層や、生業も組み合わせられた兼用住宅(農業、店舗、アトリエ等)を求める方々の選択肢が増えるように意識して設計しました。

また、能登の木を使うために、昔のようなシンプルな木材供給網とし、どこかの森の木を使ったかまでわかる住宅をつくります。

プレカットを省き、大工さんによる手刻み技術を用い、かつ組み易い小屋組みをデザインしています。

住宅を建てる行為が、大工さんの技術継承や森の好循環への一助になり、個人だけでなく能登全体の復興にも関わられる仕組みを考えました。

### 提案プランの概要

構造・工法 木造  
延床面積・階数 49.6㎡・平屋  
標準工期 4～5ヶ月  
概算工事費 1,760万(税込)

### 概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事  
地盤調査+補強工事、外構工事  
エアコン、カーテン、家具工事  
確認申請費用、登記費用

## 【いしかわ型復興住宅 5つ要件】提案内容

### ①コミュニティ

兼用住宅としてもつかえるように、正面がお店の様に開かれたリビングを持ち、用途に合わせて開放感をコントロールできる計画としました。

### ②景観 (まちなみ)

能登の歴史ある住宅は立派な妻面を持ちます。この建物も妻入りとしてコンパクトながら立派な妻面を持つ様に計画しました。  
また、部分的に瓦屋根と板金屋根を組み合わせ、街並みへの配慮と軽量化で耐震性をあげることを同時に考えています。

### ③地域特性

雨雪の多い石川県の気候に利便性の高い軒下スペースや広い土間スペースを備え、様々な使い方ができます。LDKを土間と一体的なコンクリート床として、より汎用性の高い仕様に変更することもできます。

### ④住宅の 基本性能

耐震等級2、断熱等級4の仕様を標準としていますが、各等級をグレードアップすることも検討可能です。また、土間の間口が広く、将来の福祉用具等が設置しやすいように配慮しています。

### ⑤コスト (費用)

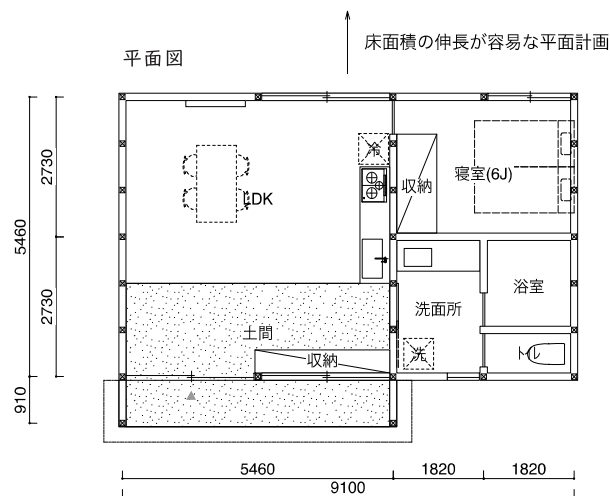
廊下をなくすことで面積を抑える、住宅の開口部等は規格品サイズを採用する、使用する木材規格を大きく2つに絞る材料を無駄なく使うことで、コスト低減を意識しています。

### ○ 施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表者所在地 石川県金沢市法光寺町207-4

代表者 新協建設工業(株)石川支店 支店長 武田 正彦 担当 稲森 公代

電話番号 076-257-2535 E-mail : kayamori@shinkyō-ken.com



内観パース



外観パース



### 主な外部仕上げ

屋根 瓦葺、ガルバリウム鋼板  
外壁 リシン吹付、能登杉板貼り  
建具 アルミ樹脂複合サッシ

### 主な内部仕上げ

床 コンクリート土間、能登杉フローリング、長尺シート  
壁 クロス貼り  
天井 シナ合板、クロス貼り